

(10) 消化器外科・乳腺外科・外科

【概要】

今年度から消化器センターが設立されました。縦割りであった診療体制から、消化器疾患を同じ病棟で消化器内科・肝臓内科・消化器外科の医師が密に連携しながら診療にあたる体制が整えられました。また、今年度から乳腺外科が独立した標榜科となり、新棟2階の女性フロアで婦人科と並んで外来が出来るようになりました。

長年消化器科と標榜されていた診療科が、消化器内科と消化器外科に分かれ、患者さんに分かり易い診療科体制となりました。

【人事】

2012年3月31日をもって、千葉斉一（消化器外科副医長）、島田理子（後期研修医）が退職。

2012年4月1日より、玉川英史（消化器外科部長）、嶋田恭輔（乳腺外科副医長）、石井大（後期研修医）、森貞三郎（後期研修医）が赴任。

【業務内容】

2012年度は、スタッフ7名、後期研修医2名の体制で、一般・消化器・乳腺外科の診療に当たりました。

手術日は、一般・消化器外科 月・水・金曜日、乳腺外科 月・金曜日で、手術以外の業務は、以下のとおりです。

消化器外科・外科

		月	火	水	木	金
外来	AM	玉川	有澤/石川	橋本	中村	慶應*
	PM	中村	有澤	慶應*	玉川	石川
内視鏡	AM	上部	中村	玉川	山本☆	石川
		下部	有澤	中村	山本☆	有澤
	PM	胆道	玉川			
超音波	AM				玉川	
回診		8:40 から 外来担当医以外全員	8:40 から 副院長回診	8:40 から 外来担当医以外全員	8:40 から 外来担当医以外全員	8:40 から 外来担当医以外全員
カンファレンス		8:00 から ・連絡事項 ・入院患者の経過・方針 16:30 から 5東病棟 多職種による入院患者の経過・方針	17:00 から 治療方針決定 手術枠決定	8:00 から 勉強会	8:00 から ・連絡事項 ・入院患者の経過・方針	8:00 から 手術後症例の経過・画像・病理 17:30 から CT, MRI 画像読影
オンコール		中村	石川	嶋田/有澤	玉川	週末当番

*：慶應義塾大学医学部一般・消化器外科後期研修医による非常勤勤務

☆：非常勤医師

乳腺外科

	月	火	水	木	金
午前	—	—	嶋田	嶋田	嶋田
午後	—	村山☆	嶋田	嶋田	—
検査・検診・人間ドック					
	月	火	水	木	金
検査	—	マンモトーム (AM)	—	—	—
検診	—	13時-14時	—	10時-11時	—
人間ドック	—	—	—	—	午前中

☆：非常勤医師

【業務方針・実績】

・消化器外科・外科

消化器良性疾患に対する手術に単孔式腹腔鏡下手術を今年度下半期に導入しました。この手術は一つの孔から複数の鉗子を挿入する、腹腔鏡下手術のなかでもさらに低侵襲手術です。“井田山”にも紹介させて頂きましたが、今後症例数を増やしていきたいと思えます。その応用として、胃癌・大腸癌の手術に減孔式腹腔鏡下も導入して症例を積み重ねています。

緊急手術に対しても腹腔鏡下手術を導入しました。主な手術は胃・十二指腸潰瘍穿孔に対する腹腔鏡下大網充填術と急性・慢性虫垂炎に対する腹腔鏡下虫垂切除です。昨年度1年間で12例施行することが出来ました。

手術を施行する科としてはやはり創の管理が重要となります。今年度から腹部手術に、緊急手術であろうが拡大手術であろうが原則的に、真皮縫合を導入しました。この手技は、患者さんへの利益が多い一方、手術時間が長くなり外科医・麻酔科医の負担が増えるために導入が難しいのですが、数か月かかり実現することが出来ました。このため、患者さんは病棟での痛い思いをしての抜糸が無くなり、線路のような傷跡が一本の線だけになり、術後早期にシャワー浴が可能となりました。また、病棟での手術創管理を見直し、不必要な滅菌ガーゼ・滅菌撮子の使用を10%以下にまで抑え、院内感染防止を徹底するため清潔な包交車と汚染物質・道具を分別ししっかりできるように徹底しました。

急性期病院での消化器外科病棟で一つの目標となる平均在院日数10日以内を今年度を実現することが出来ました。最新の値では9.3日を実現しております。これは上記の手術創管理の進化と、今まであまり進んでいなかったクリニカルパス導入に対して、医師・看護師のクリニカルパスへの理解を得て適応拡大することができたためと思えます。例えば今まで導入していなかった内視鏡的逆行性胆管造影、胃全摘、直腸前方切除、肝切除、臍頭十二指腸切除にも適応拡大しています。もちろん適応を拡大するだけでは実現できなく、手技の技術向上、合併症率低下も大きな要素と考えられます。

消化器外科・外科の総手術数、疾患別手術件数を別表に示しました。

疾患別には、消化器系の癌が大きな比率を占め、多い症例として、胃・食道癌34例、大腸癌62例などが挙げられます。年齢別には、70代、60代、80代の順に多く、60歳以上が全体の70%以上を占め、さらに高齢化する傾向がみられました。

私たちは、がん診療連携拠点病院の一員として、上記のような最新の高度医療を積極的に行っています。

・乳腺外科

乳癌は近年増加の一途を辿り、今や女性の悪性新生物の中で第一位になりました。しかし、乳腺外科の標榜を掲げる病院はまだ多くありません。井田病院は以前より外科で乳腺疾患を扱ってきましたが、2012年5月より乳腺外科外来を独立させ、より専門的かつ最新の医療を提供できるよう環境を整備致しました。

乳腺外科では、良性疾患・悪性疾患にとらわれず乳腺疾患全般において診療可能な体制をとっております。外来は、婦人科外来と同じスペースを確保することにより、女性が一人でも受診しやすい環境を整えております。

検査では、マンモグラフィ、乳房超音波、乳房造影ダイナミックMRIを軸に診断を行っております。通常の針生検では診断の難しい症例に対しては、エコーガイド下マンモトームも備えておりますので、切除生検をすることなく診断が可能です。また、県内では設置の少ないステレオガイド下マンモトームにも対応しておりますので、超音波では確認できないマンモグラフィの石灰化病変も生検可能です。

手術では、乳房温存術はもちろんのこと、アイソトープを用いたセンチネルリンパ節生検も標準的に行っております。また、形成外科と連携し自家組織を用いた乳房再建術や組織拡張器による乳房再建術にも対応しております。

乳腺外科の総手術数、疾患別手術件数を別表に示しました。

昨今話題の遺伝性乳がんに関しても現在検査体制を整備しており、遺伝子検査および遺伝相談カウンセリングの認定施設の申請中であります。

がん拠点病院である当院としましては、乳癌領域のがん診療連携にも重点を置いております。近隣に乳腺専門施設が少ない立地を生かし、より地域に根付いた乳癌診療を行っていきたいと考えております。

【学会、研究活動】

医局員は、日本外科学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本胸部外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会、日本消化器内視鏡学会、日本内視鏡外科学会、日本乳癌学会、日本内分泌外科学会、日本乳癌検診学会など、多彩な学会に入会しています。本年度もその成果は多くの論文、学会発表となりました。また、日本外科学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器外科学会、日本大腸肛門病学会等の教育認定施設となっており、若い医員および新臨床研修医の指導・教育も積極的に行っています。

【臨床研修医の指導】

当科では、医局全員にて初期および後期研修医の指導を行っています。手術はもちろん

のこと、ベッドサイド処置、内視鏡検査、超音波検査、各種造影検査などの実技指導、勉強会、術前カンファレンス・病棟カンファレンスに加え、研究会、学会での発表、論文発表を積極的に行っています。

麻酔別手術件数(2012年4月1日～2013年3月31日)

総手術件数	464	全身麻酔例	351
		腰椎麻酔例	6
		局所麻酔例	107

男女別、年齢別手術件数(2012年4月1日～2013年3月31日)

	男	女	計
10歳未満	0	0	0
10代	2	3	5
20代	6	5	11
30代	13	8	21
40代	15	34	49
50代	16	34	50
60代	51	47	98
70代	71	48	119
80代	37	43	80
90代	7	9	16
100代	1	0	1
合計	219	231	450

主な手術件数(2012年4月1日～2013年3月31日)

消化器外科

臓器	病名	術式
食道・胃・十二指腸	食道癌 5例	開胸開腹食道亜全摘 8例
		有茎皮膚弁 1例
	食道胃接合部癌 5例	壊死腸管切除 1例
		胃癌 24例
	潰瘍穿孔 3例	(内左上腹部全摘 1例)
		幽門側胃切除 7例
	出血 1例	噴門側胃切除(空腸間置) 2例
		バイパス 1例
		腹腔鏡下胃全摘術(LATG) 2例
		(内減孔式LATG 2例)
		腹腔鏡下幽門側胃切除(LADG) 3例
		(内減孔式LADG 3例)
		腹腔鏡下部分切除 1例
	開腹大網充填 1例	
	腹腔鏡下大網充填 2例	
小腸	小腸腫瘍 1例	小腸部分切除 1例
	上腸間膜動脈塞栓症 1例	小腸大量切除 1例

臓器	病名	術式	
大腸 (虫垂・結腸・直腸)	結腸癌 3 4 例	結腸切除 3 1 例 (内拡大結腸切除 1 例)	
	直腸癌 2 8 例	高位前方切除 8 例 低位前方切除 5 例	
	良性大腸疾患 4 例	腹会陰式直腸切斷 4 例 ハルトマン 6 例 バイパス 2 例	
		腹腔鏡下結腸切除 1 例 腹腔鏡下前方切除 3 例	
		人工肛門造設 6 例 人工肛門閉鎖 6 例	
		開腹虫垂切除 1 4 例 腹腔鏡下虫垂切除 1 0 例	
		大腸部分切除 1 例 三輪 GANT 2 例	
	肛門	痔核 4 例 痔瘻 1 例 肛門ポリープ 1 例 肛門癌 1 例	ミリガンモルガン 7 例
	胆道(肝・胆道・膵臓)	肝細胞癌 0 例	肝切除 3 例 (左 3 区域 1 例・S4aS5 1 例・亜区域 1 例)
		転移性肝癌 2 例	
肝のう胞 1 例			
胆管癌 1 例		膵頭十二指腸切除 6 例 (内血管合併切除 2 例)	
胆嚢癌 2 例		膵体尾部切除 4 例	
乳頭部癌 1 例		(腹腔動脈管合併 3 例・脾温存 1 例)	
膵癌 8 例 (頭部 4 例・体部 4 例)		腹腔鏡下膵嚢胞開窓 1 例 単孔式腹腔鏡下肝嚢胞開窓 1 例	
膵炎 1 例		開腹胆嚢摘出 4 例 腹腔鏡下胆嚢摘出 2 9 例 (内単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出 2 例)	
胆嚢良性疾患 3 3 例 (胆石・胆嚢炎・胆嚢ポリープ)	開腹胆摘総胆管切開単純閉鎖 2 例		
総胆管結石 5 例	胆管十二指腸吻合 3 例		

一般外科

臓器	病名	術式
	単径ヘルニア 5 4 例	縫縮 1 7 例
	大腿ヘルニア 6 例	メッシュ 4 5 例
	閉鎖孔ヘルニア 0 例	小腸部分切除 3 例
	腹壁癒痕ヘルニア 4 例	癒着剥離 7 例
	腸閉塞 7 例	
副腎 脾臓	副腎腫瘍 1 例	腹腔鏡下右副腎切除 1 例

臓器	病名	術式
		内視鏡下胃瘻造設 4 4 例
		CAPD カテーテル埋め込み・抜去・修正 5 例
		CV ポート埋め込み・抜去 1 6 例
		アテローム(腫瘍)切除・デブリ・開腹ドレナージ・硬膜外カテーテルポート挿入・気管切開・その他 2 7 例

乳腺外科

臓器	病名	術式
乳腺	乳癌 7 9 例	乳房全摘術 1 6 例
		乳腺温存 5 6 例
		センチネルリンパ節生検 3 0 例
		腋窩リンパ節郭清 2 2 例
		乳房再建(エクспанダー挿入) 4 例
	乳腺腫瘍 4 例	乳腺腫瘍摘出 5 例
		血腫除去 2 例
	肉芽腫性乳腺炎 1 例	追加切除 2 例

(文責 消化器外科部長 玉川英史)

(11) 呼吸器外科

2011年8月より安彦智博医長が赴任し現在常勤医師1名体制で診療しております。

外来は地域医療連携強化のため月曜から金曜日まで毎日ご紹介患者を受け入れられるように非常勤医師3名分増設し診療にあたっております。堀米寛医師には引き続き金曜日の外来診療をお願いしました。新たに非常勤医師となられた朝倉啓介医師と山本純医師にはそれぞれ月曜、火曜日の外来診療と手術支援をお願いしました。

2012年度の全身麻酔下での手術件数は62件でした。手術の内訳は、肺悪性腫瘍25例(原発性肺癌23例、転移性肺腫瘍2例)、膿胸・胸膜炎3例、縦隔腫瘍(胸腺種など)5例、良性肺腫瘍12例、気胸13例、その他4例となっております。平均年齢は70才で75歳以上の高齢者が25%(75才-87才)を占めておりました。

今後も癌拠点病院として肺悪性腫瘍を中心に、気胸や縦隔腫瘍などの良性疾患の手術も積極的に行っていきたいと考えております。

週間行事予定は、(月):外科カンファレンス、手術、外来、(火):手術、外来、(水)外来、呼吸器内科・外科合同カンファレンス、気管支鏡検査、(木):外科カンファレンス、外来、検査科病理で手術標本の切り出し、(金):外来、気管支鏡検査を行っております。気管支鏡検査は今まで通り呼吸器内科と合同で行っております。

(文責 呼吸器外科医長 安彦 智博)

	09年度	10年度	11年度	12年度
全麻手術件数	41例	80例	70例	62例